



室内側に貼る強力貼付タイプ

台風
地震
フィルム
窓にガッチリ貼る
飛散防止

作業時間目安 30分

※社内調査

日本製

日頃からの対策に

UVカット率 約 99 %	ペアガラス Low-E複層ガラス対応
	飛散防止性能 JIS規格合格品



目立ちにくい透明タイプ

サイズ(約)

92cm×180cm

1枚入り

特長

本製品は日本工業規格「JIS A 5759 建築窓ガラス用フィルム」のガラス飛散防止性能試験[※]の規格値を満たしています。

※(A法:ショットバック試験)

- ガラスに貼ることで、割れたときに破片が飛び散ることを防ぎます
- 紫外線を約99%カットします。

古くなったシートのはがし方

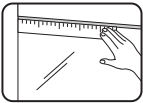
シートの端からゆっくりとはがしてください。はがしにくい場合は、シートにカッターナイフで5cm程度の間隔で切り込みを入れ、シート面に水と中性洗剤を1:1の割合で混ぜた水を霧吹き等で吹き付けてください。その上に新聞紙をあて、さらに霧吹き等で水を吹き付け約30分間放置した後、シートの端からゆっくりとはがしてください。

お手入れ方法

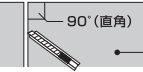
シート表面の汚れは、中性洗剤を含ませた柔らかい布でふき取ってください。シンナー・ベンジン等のご使用は、お避けください。

△ご注意	ご使用になる前に必ずお読みください。 また使用中は保管してください。
●ガラスの飛散防止効果は、すべての環境で効果を発揮するものではありません。保管状態や経時変化などの条件によりガラスが飛び散る場合もあります。	
●折れ跡が付きやすいため、取り扱いにはご注意ください。	
●ガラス戸や窓ガラスなど、屋外に面しているものは内側からお貼りください。	
●室温及び、貼り付ける面が約5℃以下、35℃以上の場合での貼り付け作業はお避けください。	
●水が直接かかる浴室内のガラス戸などにはご使用出来ません。	
●車のガラスには使用しないでください。	
●不要になった離型フィルムは、滑りやすいのでご注意ください。	

窓ガラス面のサイズを測る



飛散防止シートを貼るガラス面のサイズを定規で測り、飛散防止シートをそのサイズより約2cm程大きめにカッターでカットします。



その際、飛散防止シートの直角をだしてから、計測したサイズにカットします。

貼り方の手順



1 貼り付ける面の汚れやホコリをきれいに取り除きます。※ガラスの隅まで念入りに汚れを拭き取ってください。汚れが残っているときれいに仕上がりません。



2 シートを貼るガラス面に中性洗剤を混ぜた水を霧吹き等で吹き付けます。

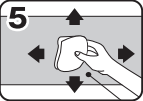
約200mlの水に対し、中性洗剤を1～2滴程度混ぜることで貼りやすくなります。



3 はがし口シールが貼り付けられている部分から離型フィルムを1/3程度はがし、糊面にも霧吹き等で水を吹き付けます。

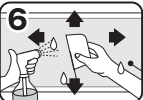


4 貼る位置を決めて、シート上部を仮止めし、残りの離型フィルムをはがしながらゆっくりとガラス面に貼り付けてください。



5 貼る位置が正しいことを確認し、問題がなければタオルを押し当て、シートの中央から外側へ空気を押し出してください。

まだシートが動きやすい状態のため、位置合わせに注意しながら押し出してください。



6 シート表面に霧吹き等で水を吹きつけてから、窓貼り用スキージーを使用し、シートをしっかり和密着させます。

スキージーを使用する時は、シート表面に傷つかないように必ず離型フィルムを上から重ねて使用してください。



7 最後に余分なシートをカッター等で切り取り、表面の水分をタオルで拭き取ります。



8 乾燥後、気泡が残っている場合は針で穴を開けて空気を抜いてください。

品質表示

材質	(表面) ポリエステル樹脂 (粘着剤) アクリル系樹脂 (離型フィルム) ポリエステル樹脂 (耐熱温度) 約80℃
----	--

ガラス窓シート飛散防止 クリア

2210

品番: GHK-0102



紙 ラベル
袋: PP, PET

MIWA
明和グラビア株式会社